



2 千種区の魅力を活かしたまちづくり

2 - I 地域の特色や魅力を活かしたまちづくりをすすめます

【現状】

区民がふれあい、交流を深める事業や、地域の特性に応じた特色あるまちづくりなど、区民や地域が自主的・主体的に取り組みをすすめる必要があります。

① 区民が「参加して良かった」と思える、楽しめる「区民まつり」を実施します。

【目標】

前年以上の参加者をめざし、参加者の満足度が90%以上となることをめざします。

(平成20年度参加者 32,500人)

まちづくり推進室

区民まつりに参加された方が一日中楽しく過ごすことができ、千種区らしさを醸し出すようなステージや模擬店などの賑わいのあるまつりを、区民が主体的に企画し、運営することにより満足度を高めます。



平成20年の区民まつり

② 魅力ある、千種区らしいまちづくりをすすめます。

【目標】

千種区の特性、魅力を再発見する新たな事業を開拓し、千種区らしい魅力のアップを図ります。

まちづくり推進室

- (1) 「やまて音楽祭」を始め、揚輝荘を拠点とした区民との協働まちづくり事業に取り組みます。
- (2) 「アジサイタウン事業」では、区民との協働により、茶屋ヶ坂公園を拠点に、区の花であるアジサイの剪定や写真展などに取り組みます。
- (3) 区民からの情報などを基にして千種区の特性や魅力アップなどに関する調査をすすめる、千種区らしい魅力のあるまちづくりにつなげます。

2 - II 快適で、環境にやさしいまちづくりをすすめます

【現状】

千種区の美しい街並みを保つため地域の清掃活動を継続するとともに、地域の方と緑化の普及に向けた取り組みを進める必要があります。

また、2010年に名古屋で開催するCOP10に向けた生物多様性の保全と、わたしたちの暮らしと関係の深いエコライフの取り組みがより重要性を増してきています。

① きれいで気持ちが良く、区民にとって住みやすいまちづくりをすすめます。

【目標】

- ・ 犬の飼い主のモラル向上を図り、犬のふん害苦情件数を前年比で10%減らします。
- ・ 空き地の樹木剪定実施率90%をめざします。

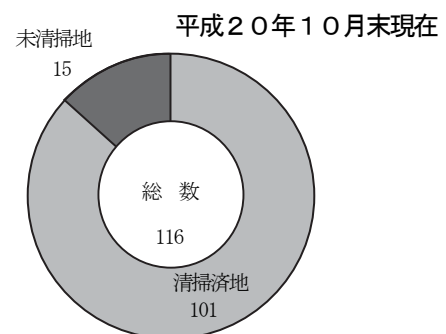
まちづくり推進室、生活環境課

- (1) 保健委員などの協力を得ながら、犬のふん害防止立て看板などを設置するとともに、公園などを巡回パトロールすることにより、苦情件数の減少に取り組みます。

(平成20年12月現在 65件)

- (2) 学区連絡協議会や区政協力委員会などの協力を得て、夏に「空き地をきれいにする運動」(※)をすすめ、空き地の草刈りや樹木の剪定に取り組みます。

<雑草が目立った空き地>



② 花と緑にあふれたまちづくりをすすめます。

【目標】

花と緑に包まれ、区民に安らぎと憩いをもたらす空間を創りだします。

まちづくり推進室、土木事務所

- (1) 地域の団体や商店街などとの協働により、「今池西公園」や「今池交差点」などの広小路通を中心とした地区を四季の花で彩ります。

- (2) 区の木ハナミズキを広めるため、地域で開催するイベント会場などで苗木の斡旋を行います。(50本)



ハナミズキ

③ エコライフ推進の啓発に取り組み、持続発展型のまちづくりをすすめます。

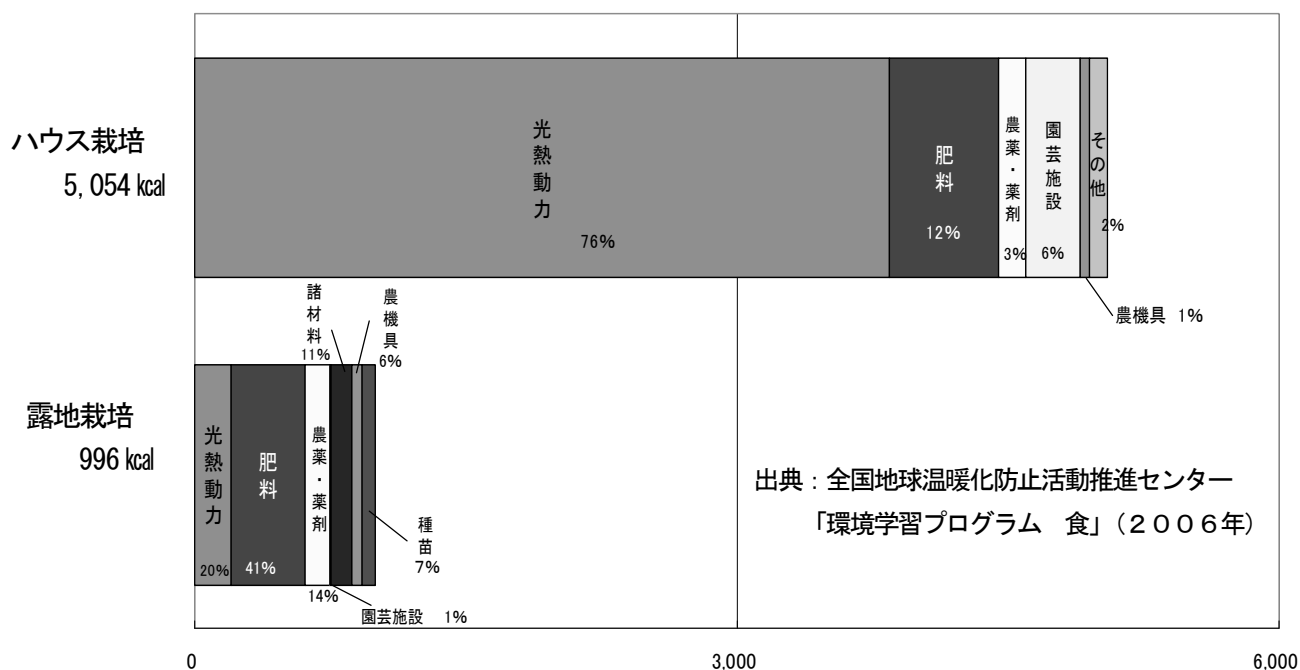
【目標】

ごみ減量と地球温暖化防止のため、レジ袋有料化参加店舗における区民のレジ袋辞退率 93%以上をめざします。

まちづくり推進室、生活環境課、生涯学習センター、環境事業所

- (1) 区民まつりや地域の行事など、さまざまな機会をとらえて区民に対してマイバッグの持参を呼びかけ、買い物時のレジ袋の辞退を促します。
(レジ袋辞退率93%を達成すると、レジ袋が3,200万枚削減され、CO₂排出量が1,280トン削減されることになります。)
- (2) 小学生を対象にごみの分け方、出し方や減量方法などを学ぶ「出前講座」を区内全小学校で実施します。(20年度2校から15校へ拡充)
- (3) 地元でとれた旬の野菜などを購入する、「低炭素型買い物(※)のすすめ」を生涯学習センターの講座などで行うことにより、区民に対しCO₂の削減を呼びかけます。

<きゅうり1kgあたりの生産投入エネルギー>



- (4) 豊かな自然環境を活用した「自然観察会」や「希少生物発見隊事業」(※)などを公募により実施し、2010年に開催するCOP10に向け、区民に対して生物多様性の保全の大切さを呼びかけていきます。